

鉄道技術開発費補助金(一般鉄道技術開発)の概要

1. 目的・事業概要

【目的】

新技術の鉄道分野への応用に係る基礎的、基盤的技術開発、鉄道の安全水準、環境性能の向上に関する技術開発を促進し技術水準の向上を図る。

【事業概要】

鉄道分野の技術開発者が、

- ①新技術の応用に係る基礎的、基盤的技術開発
- ②安全対策
- ③環境対策

に係る技術開発の課題及びその解決策を設定し、国に対して提案を行う。

2. 制度の内容

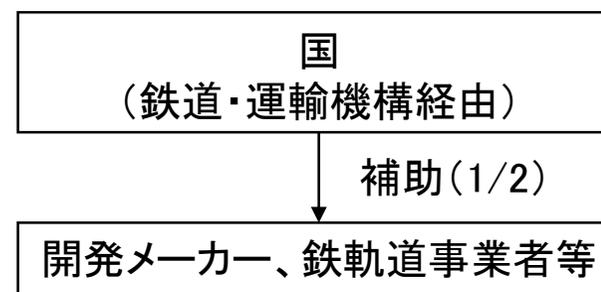
鉄道分野の技術開発者が国に提案した技術開発の課題及びその解決策について、国が支援を行う。

【補助対象者】：鉄道分野に関する技術開発を実施する能力を有する法人

【補助率】：1/2

3. 補助スキーム

鉄道分野の技術開発者による研究開発・実証実験



1. 目的・事業概要

【目的】

今後我が国では、人口減や高齢化により働き手が減少し、鉄道施設の経年劣化が進行する中、既存施設の有効活用を図りながら、鉄道の運営や施設の維持管理の効率化・省力化を可能とし、利用者の利便性の向上にも資する鉄道分野での生産性向上を進める必要がある。

【事業概要】

社会環境の変化を踏まえつつ、鉄道事業者側のニーズを取り入れた技術開発の実施及び成果の実用化並びに横展開に向けた取り組みをより一層推進するため、国の主体的な関与が必要なテーマに係る技術開発を行う。

2. 制度の内容

開発者側の経営状況が厳しい等の理由により、従来の助成制度では実用化することが難しい分野について、国がテーマを設定した上で当該技術開発の委託調査を行う。

＜本制度によって取り組む分野の例＞

- 鉄道事業者のニーズはあるが、民間主導では開発が進まない技術
- 特に経営が厳しい地方鉄道での導入が求められている技術 など

3. 委託調査スキーム

実施主体による研究開発・実証実験

